

Hirataの競争優位性

エンジニアリング力×ものづくり力×サポート力

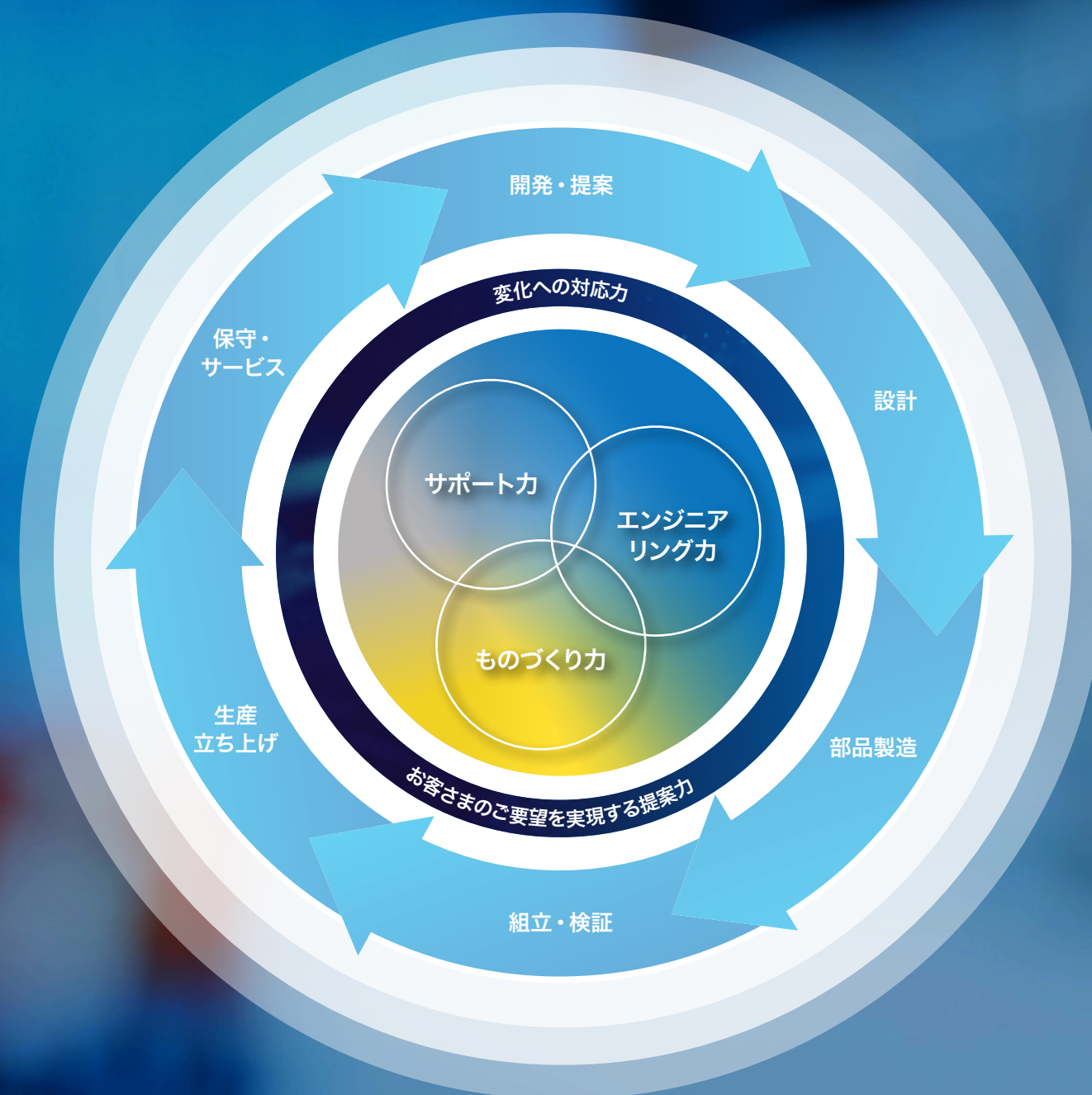
Hirataには、これまでさまざまなお客さまのご要望にお応えすることで培ってきた「エンジニアリング力」と「ものづくり力」があります。当社の強みは、この2つの力の相乗効果によって生み出されています。エンジニアリング機能とものづくり機能を担う社員が高いレベルで情報共有と共同作業を実施することで、新たな発想や効率向上につなげるコンカレント・エンジニアリングを行っています。

世界中の製造現場をサポートする当社だからこそ、過去から蓄積してきた技術・ノウハウを活かし、運用サポートやメンテナンス、製品のアップデートに取り組んでいます。このように時代とともに変化するニーズを世界各地で捉え、対応することで事業を成長・拡大してきました。



サポート力

生産現場をサポートする中で、各地の労働慣行・習慣、安全規格など現実的な課題はさまざまです。これらと真摯に向き合い、経験とノウハウから最適な生産システムの提供と、その改善を日々積み重ねています。また海外拠点9社を含むグローバルネットワークにより、お客さまが安心できるサポートを行います。



エンジニアリング力

開発段階、構想段階から欠かせないのが「お客さまありき」の思想です。個々のケースに応じた独自の提案力・設計力を培ってきた経験豊富なエンジニアが、お客さまの要望を具体化・実現します。エンジニアの「経験知」が組織に蓄積され、そこに最新ツールを積極的に取り込むことによりハイレベルなソリューションを提供することができます。



ものづくり力

当社のものづくり力は、エンジニアリング力を補強する「ものづくり力」と言えます。生産現場を熟知したものづくり、ものづくりを知り尽くした設計とも言える一体感があることで品質とスピードを両立させる一貫生産が最大の効果を生み、競争優位性につながっています。内製化や自社の生産プロセスの効率化にも積極的に取り組み、付加価値向上にも努めています。

バリューチェーンにおける3つの力の発揮

当社は、開発・提案、設計、部品製造、組立・検証、生産立ち上げ、保守・サービスと一貫した生産体制をとっています。そうすることで、構想設計、検証、メンテナンスまでお客さまに寄り添い、トータルコストが低く生産効率の高い生産システムを実現します。そして、お客さまのご要望に真摯に向き合い、技術革新を追求することで、時代とともに変化するニーズに対応します。

開発・提案／設計

幅広い分野の生産システム設計の実績を活かし、お客さまのご要望にお応えします。引合段階からエンジニアが関わることで、その先の設計、部品製造、組立・検証における課題点を前段階でクリアし、効率的なご提案につなげます。シミュレーションの積極的な活用など、構想設計段階でご要望を見現化し、お客さまに詳細をご確認いただくことができます。また、グローバルな各規格への対応が可能です。新規分野でも、業界の異なる複数分野から得た知見や技術の応用、実績を積み重ねています。

エンジニア
リング力

サポート力

部品製造

標準化や内製化の効果によるスケールメリットや調整力(コスト、リードタイム)も強みです。また、開発、設計部門と製造部門が同じ拠点にあることで、密接な連携をとることができるため、無駄や手戻り発生を低減できるとともに、提案の高度化につなげることができます。工作機械と製造設備を充実させ、内製化による部品製造が可能です。

ものづくり力

組立・検証／生産立ち上げ

広大な組立試運転スペースやクリーンルームを保有し、大型の生産システムまで自社工場での組立・検証が可能で、現地での据付以前に効率的なテストや試運転調整を行うことで短納期を実現します。製造現場でのデジタル活用やリモート立会・メンテナンスは、お客さまから非常に高い評価をいただいています。

エンジニア
リング力

ものづくり力

保守・サービス

国内に3拠点、海外に9拠点の関係会社を配置し、さまざまな国の現場に合わせた運用研修やメンテナンス、アップデートなどのサポートが可能です。保守・サービスで得た知見やお客さまの声は次の開発・提案に活かされます。

エンジニア
リング力

サポート力

数字で見るHirata

創立

73周年
1951年12月29日創立

従業員数

連結 1,967 名
単体 1,112 名
(2024年3月31日現在)
(注)臨時雇用者は除く

拠点

国内事業所 7 拠点
国内関係会社 3 社
海外関係会社 9 社

売上高

82,839 百万円
(2023年度実績)

営業利益

6,047 百万円
(2023年度実績)

生産スペース

134,391 m²
(2023年度実績)
(注)平田機工単体のデータ

HirataのSDGs関連特許 (2024年8月末時点)



(注)一般財団法人日本特許情報機構(Japio)の知財AI研究センターが提供している「SDGs関連技術の見える化」を用いて当社作成

納入実績

世界 40 か国・地域 超
累計 1,000 社

当社が賛同する主なイニシアチブ

- 国連グローバル・コンパクト
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)



サステナビリティに関する社外評価

当社はESG(環境・社会・ガバナンス)投資指数である「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index (FTSE Blossom SR)」とグローバル環境株式指数である「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に選定されました。これらの指標は、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用しています。

